

水道施設(資産)の更新・耐震化と 水道事業アセットマネジメント手法 事業経営計画策定

～地域で支える水道事業と技術継承・人材育成、そして第三者委託制度の活用～

2013年9月4日(水) 10:00～16:45 剛堂会館 (東京・千代田区)

■ 後援 ■

(株)日本水道新聞社
(株)水道産業新聞社

- アセットマネジメントと施設整備計画
- 水道事業と住民参加「知らせる」～「参加」～「合意形成」
- 第三者委託制度の導入プロセスと成果
- 技術継承・人材育成の仕組み

【講師陣】

- [講師] 小泉 明 氏 / 首都大学東京参与・名誉教授
産学公連携センター長代行・都市環境学部特任教授
- 小西 孝之 氏 / 横浜市水道局給水部給水課給水係長
- 吉岡 律司 氏 / 岩手県矢巾町上下水道課経営係主査
厚生労働省 新水道ビジョン策定検討会委員
- 内山 嘉昭 氏 / 福島県会津若松市水道部総務課総務グループ主幹
- [コメンテーター] 磯部 光徳 氏 / (株)日本水道新聞社日本水道新聞編集部長

【参加要領】

- 会場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室
東京都千代田区紀尾井町3-2-7
TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)
- 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留

■ 参加費

	1名	2名以上 1名あたり
行政・議員	24,000円	23,000円
一般	34,000円	33,000円

- みずほ銀行麹町支店 普通1159880
- 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
- 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
- 郵便振替:00110-8-81660 口座名:(株)地域科学研究会

※参加費の払い戻しはいたしませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合には、代理の方の出席をお願い致します。

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp

研修会「水道施設(資産)の更新・耐震化と事業経営計画策定」への参加 2013年 月 日

勤務先(請求書宛名等) _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

〈通信欄〉○を付けて下さい

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払・現金書留) 必要書類(納品書・請求書・見積書)

時	講 義 内 容	
10:00 ～ 11:00	基調講演 水道施設の更新・耐震化の計画とアセットマネジメント 1. 水道における最近の動向 2. 耐震化の推進方策について 3. 適切な更新計画の必要性 4. アセットマネジメントについて 5. 今後の更新・耐震化に向けて 略歴：㈱日本水道コンサルタント（現在の日水コン）を経て、85年東京都立大学工学部土木工学科講師、88年同助教授、94年同教授。2005年首都大学東京都市環境学部教授（東京都立大学大学院工学研究科教授兼務）。2010年首都大学東京都市科学連携機構長。12年首都大学東京参与、名誉教授、産学公連携センター長代行、都市環境学部特任教授。上下水道工学、環境システム工学を専門とし、土木学会や国際水学会などに所属。国や東京都をはじめ、日本水道協会や水道技術研究センターなどの委員会において委員長などの要職を務める。工学博士、技術士（上下水道部門）。	
11:10 ～ 12:00	報告1. [横浜市] 持続可能な水道事業の実現に向けた取組と実施状況 1. 横浜市水道局の経営計画 2. アセットマネジメントの取組み 3. 横浜市の施設整備計画（水道施設の耐震化・老朽管更新・震災対策） 4. 技術継承・人材育成	横浜市 小西 孝之 氏
12:50 ～ 13:40	報告2. [岩手・矢巾町] 「知らせる」から「参加」そして「合意形成」へ ～水道事業の持続的な運営に必要なソフトなインフラの構築～ 1. 新水道ビジョン 2. 人口減少と水道事業 3. 水道事業と住民参加の現状 4. 社会的ジレンマ解消の取り組み 5. 水道事業の持続のためにやるべき事	矢巾町 吉岡 律司 氏
13:40 ～ 14:30	報告3. [会津若松市] 水道事業における公民連携の取組み ～第三者委託制度の導入のプロセスとその成果～ 1. 本市水道事業の特色、現状及び課題 2. 水道事業経営改善策の検討 3. 第三者委託制度導入のための基本方針 4. 会津若松市方式とは 5. なぜ、会津若松市方式を採用したのか 6. 事業者選定の経過について 7. 本市水道事業の今後の課題 8. 新たな公民連携のスキームについて	会津若松市 内山 嘉昭 氏
14:45 ～ 16:45	パネル討論(質疑応答・意見交換) 持続的な水道事業の経営確立に向けて ～持続的な水道事業のあり方に関して、参加者の直面している課題の共有を図りながら、講師を交えて意見交換を行うものです～ 進 行 : 小泉 明 氏 / 首都大学東京参与・名誉教授 パ ネ ラー : 小西 孝之 氏 / 横浜市水道局給水部給水課給水係長 吉岡 律司 氏 / 岩手県矢巾町上下水道課経営係主査 内山 嘉昭 氏 / 福島県会津若松市水道部総務課総務グループ主幹 コメンテーター: 磯部 光徳 氏 / ㈱日本水道新聞社日本水道新聞編集部長	

後 援